

県立串本古座高等学校 学校運営協議会

令和4年度 第1回【7月1日(金)】

出席者:委員6名、傍聴人0人

議題

- ①委員委嘱
- ②会長選出

報告

- ①令和3年度の取り組み
- ②令和4年度の取り組み
- ③地域協議会からの報告

主な内容

議題

- ①委員に辞令書交付
- ②会長が選任された。

報告

- ①学校行事の取り組み、コロナ禍の影響、進路状況について校長が説明。
 - 生徒有志で缶サットに参加した。
 - 生徒会が校庭にイルミネーションを設置した。
 - 修学旅行はコロナ禍の関係で、バスで行ける四国旅行に変更した。
 - 令和3年度は、地元就職をした者が18人、大阪2人等で、進学では国公立大学に7人、私立大学に42人、短大に4人が合格した。
- ②本年度の本校への入学状況、令和4年度本校の基本方針、宇宙探究コース設置に向けて、高等学校改革推進事業について校長が説明。
 - 本年度の新入学生は52人だった。串本町から27人、古座川町から15人で、対象者の45.7%が本校に入学した。昨年度は72%だった。
 - スクールポリシーとして、地域への貢献活動などに意欲的に取り組み自己の進路を積極的に切り拓こうとする生徒を求める。地域の教育資源を活用し、地域と共に歩む学校とする。
 - 令和6年度からの宇宙探究コース設置に向けて取り組みをしていく。令和5年度は2年生グローバルコースの宇宙関連選択科目を設置、令和6年度に宇宙探究コースを設置する。
 - 文科省「新時代に対応した高等学校改革推進事業」に採択された。令和6年度に新たに「地域社会学科」を設置する。

③地域協議会の取り組みについてコーディネーターが説明。

○令和4年度全国募集入学生は6人でこれまでの最多となった。

○住居確保の取り組みについて、本年度入学生は、野球部後援会が運営する寮への入寮が1人、アパートへの入居が4人、その他1人となっている。

○くろしお塾について、地域協議会では串本古座高校の魅力づくりの柱と位置付けて取り組みを続ける。

以上の説明に対する各委員の意見

- ・宇宙探究コースの詳しい内容が分からないか。これに関連して全国募集生徒数の規模はどうなるのか。
- ・今年度の入学人数を考えると、来年度はどうなるのだろう。高校はある程度の規模がないと、クラブ活動も成立しない。宇宙探究コースを設置しても生徒数が増えるかどうか心配。
- ・全国募集をするうえで、「住」と「食」の確保は重要な問題。地域の声として、寮の整備、便利な寮が必要ということを訴えていくべき。
- ・国公立大学へ進む生徒が多くなっていることは魅力。もっとアピールをしていくべき。